

## 指導医、研修医との

### 交流会を開催して

卒後研修担当理事 西 平 綾 子

今回は令和7年11月29日、30日と2日間にわたって、きたのホールにて開催された第27回VHJ機構 指導医養成講座を受講したのでその感想と報告をしたいと思います。当院では4年前から北野病院研修医の地域医療研修の受け入れをしております。毎年、研修医に指導するといっても、自分自身研修指定病院での勤務経験がなく、今の研修医が何を地域医療研修や指導医に求めているのか、手探り状態でしたので今回は近隣で開催されることもあり良い機会だと思い受講しました。

講習会は2日間にわたり朝から晩まで（初日の飲み会もコミュニケーションⅡ 指導医としての在り方をディスカッションする、といった名目で）参加必須でした。特に印象に残ったのは研修プログラムの立案（演習を交え指導医として自らのコ

ミュニケーションを振り返る）として医療コミュニケーションの考え方の講義後にグループに分かれてゲームをしたことです。これから講習会を受けられる先生方にネタバレをしないように、とのことでしたので詳細は記載できませんが、1人が紙に書かれた図をペアの相手に言葉のみで説明し、制限時間内にどれだけ同じ図が描けているか答え合わせをするといった内容でした。先に全体像を伝えてから細部を説明するほうが上手く伝わることや、客観的な表現で伝える事の大切さ、言語以外の要素にも注意を払うことも必要といった研修医への伝え方やコミュニケーションのヒントとなるような内容でした。また医療情報活用としてChatGPT & Scispace と、った生成AIや医学系AIサービスをうまく使いこなす事も今後の指導では必要であることも学びました。医療安全分野では医療チームの安全性を支えるノンテクニカルスキルと心理的安全性について講義を受け、その項目の中で、その日一番盛りあがったマッシュマロタワー作成ゲームをしました。12チームに分かれて与えられた材料（20本のパスタ、紐、マスキングテープ）を使用しできるだけ高くつぺんにマッシュマロがついた自立したタワーを作り、チームごとで高さを競う課題でした。ポイントは高いタワーを

作ったものの、軽いと思っていたマシユマロがパスタで作ったタワーで支えるには意外と重たく、私のチームは残り時間5分くらいでマシユマロをてっぺんに付けたら傾いて倒れてしまいました。急遽タワーを低くしマシユマロの重さに耐えられるまでパスタを束ね工夫していた結果、12チーム中4位でした。途中でマシユマロを試しにつけてみなかったのが敗因であり、チームとしての反省点でしたが、4人のメンバーで色々な意見を出し合い、それぞれの役割を決めチャレンジしたのは大いに盛り上がりました。2日目の医師としてのプロフェッショナルリズムを討議する内容もとても面白かったです。参加者全員で考えたプロフェッショナルリズムは研修医だけでなく自分自身にも常に心に留めておく内容だと感じました。2日間、長時間の講義やワークショップに正直疲れましたが、色々と学び充実した2日間であり、今後の研修医指導に生かしていきたいです。

また今年も無事に研修医と指導医の交流会が執り行われております。北区医師会で毎年開催している指導医、研修医との「交流会」は府医で開かれた指導医と研修医の交歓会を参考に平成19年度から開催されています。今年度は、令和7年10月18日（土）、アンピールホテル大阪（山西福祉記念会館）にて開催しました。まずは第211回学術講演会として、済生会中津病院循環器内科 藤原竜童先生より『P波で見極める心電図』の講演がありました。今回は研修医向けの内容として、改めて心

電図の成り立ちから波形異常の見方、またリズム異常を系統的にご講演頂きましたが、確実に心電図を読み取るのは簡単ではないと感じました。その後、研修医、病院の指導医、診療所の指導医が集まり「交流会」が開催されました。今年度は研修医、指導医合わせて35名の参加がありました。

当日の出席者（敬称略） 35名参加

北区医師会長 …… 本出肇

研 修 医 …… 谷光美咲、濱裕貴、屋鋪宗一郎、油谷

高輝、青山陸也、尾崎公亮、喜舎場朝基、

嶋田里香、夏川翔（以上、医学研究所

北野病院）

鏡畑英昭、池側佑哉、平岩伸元、澤井

千優、辻桜弓、福田祥彦、松山賢斗（以

上、住友病院）

堅田浩史、佐々木頼応、上田健太、川

崎悠平、小島理紗子、三宅大河（以上、

大阪府済生会中津病院）

病院指導医 …… 金子鋭（医学研究所北野病院）山本浩

司（住友病院）安井良則（大阪府済生

会中津病院）藤原竜童（大阪府済生会

中津病院）

診療所指導医 … 米田円（米田内科胃腸科）西平

綾子（にしひら内科クリニック）

澤田宏子（澤田内科医院）片岡

晃哉（兵田クリニック）大原裕

彦（大原クリニック）山尾一磨

（山尾診療所）

オブザーバー … 東川雅彦（大阪府済生会中津病

院）田淵義勝（田淵医院）

「交流会」では各病院の研修医代表1名ずつに地域医療保健研修の報告を、スライドを用いて発表して頂きました。今年度は1階のレストランで立食パーティー形式での交流会を開催し、アルコールも提供され研修医の先生方も和気あいあいと歓談の時間を楽しんでおりました。今回も、北区医師会長をはじめ医師会の役員、病院の指導医の方々、医師会事務局員の皆様にサポート頂き無事開催できましたことを感謝致します。

日々の診療にお忙しいとは思いますが、これからも北区医師会の研修医に対する地域医療研修にできるだけ多くの医師会員の参加をお願いできればと思います。

#### 指導医・研修医との「交流会」

日時：令和7年10月18日(土)14:00～

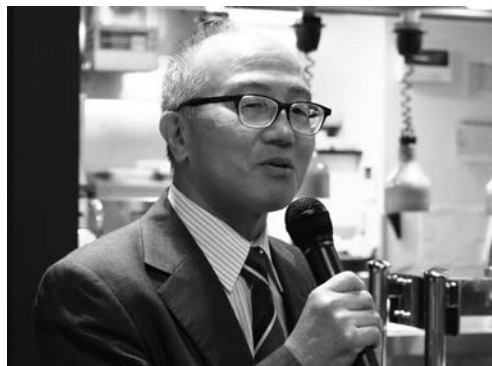
場所：アンピールホテル大阪 3階 ホール、1階 レストラン



指導医・研修医との「交流会」

日時：令和7年10月18日(土)14:00～

場所：アンピールホテル大阪 3階 ホール、1階 レストラン



指導医・研修医との「交流会」

日時：令和7年10月18日(土)14:00～

場所：アンピールホテル大阪 3階 ホール、1階 レストラン



## 【卒後研修の感想】

### 地域医療研修を終えて

〜患者さんに寄り添う

「かかりつけ医」の役割を学んで

公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院

初期研修医2年目 谷 光 美 咲

私はこの度、北区の施設にて1ヶ月間にわたる地域医療研修を行いました。月曜日から金曜日まで、扇町レディースクリニック、本出診療所、吉本診療所、八杉クリニック、にしひら内科クリニックを日替わりで訪問し、第一線の診療活動を経験させていただきました。

今回の研修では、「かかりつけ医」の役割を理解し、基幹病院との連携の重要性を学ぶことを大きな目標として掲げました。また、患者さんを病気だけでなく、取り巻く環境や家族背景まで含めて「全人的に診る」こと、そして地域包括ケアや在宅医療の意義を理解することも重要なテーマでした。

実際の研修では、外来での見学や診察だけでなく、問診、採血、腹部エコーなどの検査、さらには患者さんのご自宅を伺う

訪問診療にも同行させていただきました。

地域医療研修を通じて最も強く感じたのは、地域医療における判断の難しさと責任の重さです。大学病院や基幹病院とは異なり、地域の診療所では「病名のつかない不調」を抱える患者さんも多く、限られた設備や状況の中での確かな判断を下すことの難しさを痛感しました。患者さんにとっては、医師の専門科は関係なく「まず相談できる存在」であり、医師には幅広い知識と、信頼関係に基づいた密接な関わりが求められます。

また、地域の医師が診察室での診療のみならず、警察医、学校医、産業医といった多様な職域を兼任し、地域社会を支えている現状も学ぶことができました。

一人で命を預かることの大変さを知ると同時に、自分自身の知識や手技、診察の丁寧さがまだまだ不足していることを再認識する機会となりました。今回の経験は、「自分の今後の診療のあり方」を見直す大きな契機となりました。

地域の医療機関が果たす役割と、二次医療機関とのスムーズな連携がいかに患者さんの安心につながるかを、身をもって理解することができました。

最後になりますが、お忙しい中で温かくご指導いただいた諸先生方、ならびにスタッフの皆様、そして研修を受け入れてくださった地域の皆様に、この場を借りて深く御礼申し上げます。今回の学びを糧に、より一層精進してまいります。

## 地域研修を終えて

済生会中津病院 研修医 加藤 照 季

地域研修では大分県済生会日田病院を中心に、大原クリニック、澤田内科医院、兵田クリニック、西木診療所、本出診療所にて研修をさせていただきました。

済生会日田病院では救急科、循環器内科、放射線科を1週間ずつ回らせていただきました。救急科では地域ならではの症例を多数経験できました。異所性妊娠疑いの症例では産婦人科の先生の協力の上、大学病院に緊急搬送の判断となり、ドクターヘリに移乗するまで同伴させていただきました。貴重な経験となりました。また、救急科病棟もあり、救急対応後も引き続き治療に携わらせていただき、救急初期対応後についても勉強になりました。循環器内科では外来診療や心臓カテーテル検査に参加させていただきました。諸先生方が丁寧にご指導して下さい、心疾患についての知識が深まりました。放射線科では画像検査の読影に従事し、不明点について随時質問させていただくことで、読影力の向上につながりました。その他、へき地診療所や訪問診療にも関わらせていただき、地域中心病院としての地域に根ざした医療について理解を深めることができました。

また、診療所研修を通じて、地域医療の実際を肌で感じる貴

重な経験を得ることができました。多くの診療所で研修させていただき、外来診療の運営方法や患者対応、日常診療における診断および治療の流れを学びました。診療所での幅広い症例に関わることで、臨床の幅や視野を広げることができました。特に、患者さん一人ひとりと向き合い、生活背景や家族状況を踏まえた医療提供の重要性を実感しました。また、地域医療における多職種連携や地域資源の活用方法についても理解を深めることができ、研修を通じて実際の診療現場の判断力や対応力も向上しました。短期間ではありましたが、地域に根ざした医療の奥深さと医師としての責任感を改めて感じる研修となりました。今回の経験を今後の臨床実践に活かし、地域医療に貢献できる医師を目指して努めていきたいと考えています。



写真：金子 浩二 先生 撮影

## 地域医療研修の報告

住友病院 高木 涼 嗣

令和7年9月に、大歳内科、中村診療所、本出診療所、大原クリニック、のぞみハートクリニック、澤田内科医院において、地域医療研修を行いました。

大歳内科では外来診療を見学させていただきました。糖尿病や高血圧などの生活習慣病で通院されている患者様が多く、診察や問診に加え、日常生活に関する対話を重視した診療が行われていました。患者様の生活背景を把握した上で治療につなげていく姿勢から、生活習慣病診療における問診の重要性を学びました。

中村診療所では内視鏡検査および外来診療を見学させていただきました。内視鏡検査を実際に受けさせていただきました。医師による適切な説明や声かけが、患者様の安心感につながることを実感しました。外来診療では、患者様の疑問点を的確に把握した上で診察が行われており、信頼関係構築の重要性を学びました。

本出診療所では外来診療、内視鏡検査、腹部エコー検査を見学させていただきました。多くの患者様が来院される中で、限られた時間内に問診・診察を行い、必要な情報を効率的に収集

されていた点が印象的でした。検査においても患者様の負担を軽減する工夫がなされていました。他院への紹介体制についても理解を深めることができました。

大原クリニックでは泌尿器科・皮膚科疾患を中心とした外来診療を見学させていただきました。尿路感染症に対する抗菌薬の適正使用が徹底されており、尿沈渣や膀胱エコーを通じて泌尿器疾患への理解が深まりました。また、北区医師会の訪問看護カンファレンスに参加し、地域における情報共有の実際を学びました。

のぞみハートクリニックでは訪問診療を見学させていただきました。医師をはじめとする多職種が連携し、患者様が自宅で療養を継続できるよう支援しており、チーム医療の重要性を再認識しました。在宅環境においても、採血やエコー検査、点滴などが可能であることを学びました。

澤田内科医院では外来診療および健診を見学させていただきました。限られた検査環境の中で緊急性の高い患者様を見極める過程から、問診および身体診察の重要性を再認識しました。初診患者様の予診を担当し、情報が限られた状況でのアセスメントの難しさを経験しました。健診では職業歴の聴取など、通常診療とは異なる視点の必要性を学びました。

本研修を通じて、地域医療におけるかかりつけ医の役割や病診連携の重要性について理解を深めることができました。限ら



れた時間や医療資源の中で、患者様一人ひとりに適切な医療を提供する姿勢を学ぶことができ、今後の臨床研修において大いに生かしていきたいと考えています。

最後に、ご多忙の中、本研修の機会をお与えいただき、また熱心にご指導くださった各医療機関の先生方およびスタッフの皆様、心より感謝申し上げます。本研修で得た学びを今後の診療に還元し、地域医療に貢献できる医師となるよう、一層精進してまいります。



写真：藤平 隆宏 先生 撮影